

公表: 令和6年2月15日

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

事業所名 つみき第8

保護者等数(児童数) 39 回収数 23 割合 58.9 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	23				
	②	職員の配置数や専門性は適切である	19	4			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	22	1			
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	22	1			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	22	1			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	17	4	・不明。あってもなくても気にならない。 ・今のところ聞いたことない。今後やってほしい。 ・そういった活動はしていますか。 ・交流の機会があるとよいと思う。	定型発達児童が通う施設との交流は実施していません。公園遊びで、地域のお子さんと一緒に遊ぶ場面があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1		・送迎のときや普段メールでも保護者とコミュニケーションをとっていただいている。	引き続き、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解がきている	22	1		・いつも丁寧にその日の出来事を伝えてくださりありがとうございます。	引き続き、密なコミュニケーションを心掛けてまいります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	21	2		・今年度は面談に参加できませんでしたが今後は機会を作りたいと思います。	個別支援計画作成のタイミングで個別面談のご案内をさせていただいております。それ以外でもご希望があれば随時受け付けております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	17	5	1	・参加したことないので不明 ・保護者会ありがとうございました。 ・子供同伴可で土曜日だとありがたいです	今年度、4年振りに保護者会を開催いたしました。引き続き毎年保護者会を開催してまいります。土曜日は開所していませんが、検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	17	6		・利用したことがないので分からない	重要事項説明書に苦情相談窓口の記載がございます。必要の際にはそちらをご参照願います。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	21	2		・メールですぐに返事をいただけるので助かります。	引き続き、密なコミュニケーションを心掛けてまいります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	22	1		・毎月発行してもよいのではないかと。	法人としては不定期で『つみき新聞』を発行しております。施設としての会報の発行も検討してまいります。
	⑭	個人情報に十分注意している	21	2			
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	18	5			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	14	9		・実施したか覚えていない。 ・避難訓練を実施しているのは聞いたことあるがマニュアルは見えたことない。 ・以前避難訓練を実施したと聞いたが今も行っていませんよね。	年二回、消防法で定められた自衛消防訓練は実施しています。その際には申し送りでお伝えしています。回数を増やしていきたいです。マニュアルは施設にいつでも閲覧が可能となっております。避難場所については契約時にお配りしている『施設のしおり』に記載されております。
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	22	1		・とても楽しいと思う。長くお世話になってます。 ・楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございます。 ・行く前は「行かない」と渋るが行くと楽しそうなので。 ・楽しみにしているようです。	ありがとうございます。これからも子どもたちが通所を楽しみにしてくれるよう努めてまいります。
	⑱	事業所の支援に満足している	23			・安心して預けられるので助かっています。 ・満足しているがもう少し学習的な取り組みをして欲しい。 ・土日祝も時折営業して欲しい。 ・今後ともどうぞよろしくお願ひします ・買い物など外に連れ出してきてありがたいです。 ・外での活動や体を動かす機会を今後も増やして欲しいと思います。 ・土日の通所ができる仕組みができてくれたらさらにとても助かります。	ありがとうございます。これからも満足していただけるよう努めてまいります。 学習面について、宿題の対応のみ実施しております。土日祝の営業については、ファミリーコンサート等のイベントのみとなっております。ご理解・ご了承願ひします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 15日

事業所名 つみき第8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1			
	②	職員の配置数は適切である	8	2	1	・日により不足している日もある ・日によって足りないと感じることもある。	必要な人数は配置しているの、目配り・気配り・声掛けをお互いによくしていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10		1		
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	2	1		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	6	・現在行われていない	都型放デイに移行したことにより、令和6年度に第三者評価を実施することとなった。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	2		・もう少し療育についての研修が欲しい。	令和6年度に行動分析学の研修を実施する。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	3			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	6			標準化されたツール『太田ステージ』によるアセスメントを実施している。引き続き使用していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	5		・曜日ごとで違う人が活動プログラムを作成し固定化しないよう工夫されている。	短時間でできる活動ネタを増やしていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	3			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	1			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	11			・いつもと違う点や大切にしたい点については職員全員が把握できるよう確認している。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11					
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11					
関 係 機 関 や 保 護	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	2			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	4			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	3	1		担当者会議の機会自体がないが、あった場合には最もふさわしい者が参画する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	2			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	2	1		必ず『主治医指示書』をいただいている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	6	1		つみき第2・児童発達支援事業から進級する子については情報共有を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との 連携 関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	5	2	・必要な場合は提供できる	その機会自体がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	7	1	・必要な場合はお願いする	その機会自体がない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	5	・公園に行ったり商店街に行ったりしているが、、、 ・地域の公園等で交流する機会がある。 ・公園で時折一緒に遊ぶことがある。	引き続き地域の公園等で交流する機会を設けていく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	6	4		※1名空欄	『医療的ケア自社会』
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11			・共通理解はどうか	共通理解はできていても、家・つみき・学校それぞれの場面で状況や課題が異なる場合がある。引き続き共通理解につとめる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	4			
保護者への 説明 責任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	3		・4年ぶりに保護者会を開催した。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1		※1名空欄	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		※1名空欄	
	35	個人情報に十分注意している	10			※1名空欄	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			※1名空欄	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5		※1名空欄		
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2		※1名空欄	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	2		※1名空欄	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	1		※1名空欄	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	1		※1名空欄	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	1	※1名空欄 ・保護者さんからの聞き取りで対応している。	引き続き、おやつの場合に掲示する等の対応を行っていく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			※1名空欄		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。